

問1 大正時代に、主権が誰にあるかに関わらず、民衆の意向を尊重して政治を行うべきだという「民本主義」を提唱した人物は誰？

1. 植木枝盛 2. 吉野作造 3. 美濃部達吉 4. 中江兆民

問2 ワシントン会議などで、国同士の合意に基づき保有する武器や兵力を減らすことを何という？

1. 軍縮 2. 軍拡 3. 植民地拡大 4. 封鎖

問3 納税資格が廃止され、有権者が大幅に増えたことで実現した選挙制度を何という？

1. 間接選挙 2. 普通選挙 3. 直接選挙 4. 制限選挙

問4 大正時代から昭和初期にかけて、国民が人間らしく生きる権利を保障するために掲げられた権利を何という？

1. 生存権 2. 教育を受ける権利 3. 勤労の権利 4. 団結権

問5 1919年、ベルサイユ条約で日本の山東省権益継承が決まったことに反対して、中国で起こった大規模な反日運動を何という？

1. 三・一独立運動 2. 光州学生事件 3. 義和団事件 4. 五・四運動

問6 1918年、ロシアで起きた社会主義革命に干渉する目的で、日本を含む列強が軍隊を派遣したことを何という？

1. 満州事変 2. 日露戦争 3. 日清戦争 4. シベリア出兵

問7 民衆の幸福を重視する考え方である「民本主義」を唱えた人物は誰？

1. 大山郁夫 2. 石橋湛山 3. 吉野作造 4. 美濃部達吉

問8 第一次世界大戦後に朝鮮で発生した、日本からの独立を求める大規模な民族運動を何という？

1. 東学農民戦争 2. 三・一独立運動 3. 五・四運動 4. 光州学生事件

問9 1918年に米価が急騰し、大規模な暴動が発生した原因となった、日本が軍隊を海外へ派遣した出来事を何という？

1. 日中戦争 2. シベリア出兵 3. 満州事変 4. 北伐

問10 第一次世界大戦後に、平和原則として提案された14項目からなる構想を何という？

1. 大西洋憲章 2. ポツダム宣言 3. 十四か条の平和原則 4. サンフランシスコ平和条約

問11 1911年、女性の地位向上と自由を求めて結成された文芸結社の中心人物は誰？

1. 平塚らいてう 2. 市川房枝 3. 与謝野晶子 4. 山川菊栄

問12 大正デモクラシーの時代、民衆の意思を政治に反映させようとする運動のよりどころとなった、明治時代に制定された根本法典は何？

1. 日本国憲法 2. 大日本帝国憲法 3. 大日本国憲法 4. 明治憲法

問13 大正時代に広まった、個人の尊厳や民主主義を重んじる風潮を何という？

1. 文明開化 2. 高度経済成長 3. 産業革命 4. 大正デモクラシー

問14 雑誌『青鞥』を創刊し、日本での女性解放運動の先駆けとなった人物は誰？

1. 平塚らいてう 2. 市川房枝 3. 山川菊栄 4. 与謝野晶子

問15 国際連盟の提唱国でありながら、国内の何による反対のため加盟できなかったアメリカの機関はどこ？

1. 裁判所 2. 政党 3. 議会 4. 内閣

答え合わせ・解説

問1	答え 2 吉野作造	吉野作造は雑誌『中央公論』などで、国家の主権がどこにあるかという形式論よりも、政治の結果が民衆の利益にかなうかどうか重要であると説きました。これを「民本主義」と呼び、普通選挙の実施や政党政治を求める当時の民主化運動に大きな理論的支柱を与えました。
問2	答え 1 軍縮	ワシントン会議では、アメリカ・イギリス・日本などが主力艦の保有トン数を比率で制限しました。これは他国を出し抜くような急速な軍備拡張を避け、国際的な緊張を緩和するために行われました。
問3	答え 2 普通選挙	普通選挙は、財産や身分に関係なく、成人したすべての国民に平等に選挙権を与える制度です。1925年の法律により、日本でも納税資格が撤廃され、実質的な普通選挙が実現しました。
問4	答え 1 生存権	生存権とは、国民が「健康で文化的な最低限度の生活」を送る権利のことです。大正時代から人々の権利意識が高まり、後に日本国憲法にも盛り込まれました。この権利は、生活を維持するための公的な支援や、労働条件の改善を求める根拠となりました。
問5	答え 4 五・四運動	1919年5月4日、北京の学生が日本の権益継承に抗議するデモを行い、それが全国的なストライキやボイコット運動へと発展しました。これは中国のナショナリズムを大きく刺激し、近代中国の歴史における重要な転換点となりました。
問6	答え 4 シベリア出兵	1918年、日本はアメリカの呼びかけに応じる形で、チェコスロバキア軍の救出などを名目に軍隊をシベリアへ派遣しました。しかし、期待したほどの成果は上らず、国内では米価高騰の原因にもなりました。
問7	答え 3 吉野作造	吉野作造は、主権が誰にあるかという問題よりも、政治の結果が民衆のためにあるべきだとする「民本主義」を提唱しました。彼は雑誌などを通じて、憲政の常道や普通選挙の重要性を説き、多くの若者や知識人に影響を与えました。彼の思想は、大正時代の民主化を求める風潮の大きな支柱となりました。
問8	答え 2 三・一独立運動	1919年3月1日、朝鮮の独立を求める人々が各地でデモを行いました。これが「三・一独立運動」です。平和的なデモに対し、当時の日本の統治当局は武力で厳しく弾圧したため、国際的にも注目を集めました。
問9	答え 2 シベリア出兵	日本は米の物資輸送などの準備を急いだため、国内の商人たちが米の買い占めを行い、価格が急騰しました。これに苦しんだ庶民の不満が爆発し、日本全国で米騒動と呼ばれる暴動が発生しました。
問10	答え 3 十四か条の平和原則	1918年、アメリカ合衆国のウィルソン大統領は、平和の維持には秘密外交の廃止や軍備縮小、国際的な協調が必要であるとし、14項目からなる平和の原則を発表しました。この中には、平和のための国際組織の設立や、民族自決の原則が示されています。
問11	答え 1 平塚らいてう	平塚らいてうは、1911年に女性だけの文芸雑誌『青鞥』を創刊し、青鞥社を結成しました。彼女は、理知と感性の両面から女性の目覚めを説き、旧来の家族制度に疑問を投げかけました。
問12	答え 2 大日本帝国憲法	天皇を国家元首とし、統治権を天皇に帰属させる仕組みを定めていました。しかし、大正時代に入ると、この憲法が定める議会制度などを活用し、民衆の声を政治に届ける「大正デモクラシー」の動きが活発化しました。吉野作造らの論者は、憲法の枠組みの中でも解釈次第で議会政治を発展させられると考えました。
問13	答え 4 大正デモクラシー	この風潮のもとで、普通選挙運動や労働運動、女性解放運動などが盛んに行われました。また、憲法を守ることを掲げた「護憲運動」などもこの時期の特徴です。
問14	答え 1 平塚らいてう	平塚らいてうは、1911年に女性だけの手による文芸雑誌『青鞥』を創刊しました。創刊号の宣言文にある「元始、女性は太陽であった」という言葉は有名で、女性の目覚めと自立を力強く訴えました。当時の厳しい社会的制約の中で、女性が自身の力で生きる権利を主張し、日本における近代的な女性運動の先駆けとなりました。
問15	答え 3 議会	国際連盟はアメリカのウィルソン大統領が提唱したものですが、加盟の承認権を持つアメリカ議会で強い反対に遭いました。結果として、アメリカは条約を批准できず、国際連盟に加盟しませんでした。